

2025年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」(第1回)

「排熱を利用したバナナ栽培と食ロス削減やバナナ和紙づくりに取組む循環型地域貢献」の取組み 終了報告書(一部抜粋)

令和7年10月23日

新潟県生活協同組合連合会

I. 委託内容

令和7年度1回目の学習会は、2023年に1回企画している国内でも珍しい焼却施設の排熱を利用した国内初のバナナ栽培を通したさまざまな「循環」の取組みを見学してエシカル消費への理解を深めていただきました。

2年振り2回目の企画となりましたが、前回30名募集のところ110名を超える申込みがあり80名強の方が落選となったことを受けて2回目の企画を計画、また、前回時間が押したこともあり30分延長した行程としました。

II. 企画内容

1. タイトル: 2025年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」(第1回)

「排熱を利用したバナナ栽培と食ロス削減やバナナ和紙づくりに取組む循環型地域貢献」の取組み

2. 日 時: 10月18日(土) 午前10時00分~11時30分

3. 会 場: シモダ産業(株)シモダファーム(柏崎市荒浜2-12-32)

4. 主 催: 新潟県

5. 企画・運営: 新潟県生活協同組合連合会(新潟県受託事業)

6. 参加対象者: 募集定員40人: 新潟県内在住の方、小学生以上(事前申込必要)

7. 参加者: 40名(小学生4名、中学生1名含む)

8. 行事共済: 有(企画・運営者側で一括加入手続き)

9. 学習テーマ: 「排熱を利用したバナナ栽培と食ロス削減やバナナ和紙づくりに取組む循環型地域貢献」の取組み

10. 次第・スケジュール

* 8:45/長岡駅東口受付開始

① 9:00/長岡駅東口発 ② 10:00/シモダファーム着 ③ 11:30/シモダファーム発

④ 12:30/長岡駅東口着・解散

11. 学習会の内容

行きのバスの中で、学習会の趣旨説明および「コープのエシカル2025」を使い簡単にエシカル消費について説明を実施しました。その後、子どもさんも参加されていたことからバナナの歴史や生産量・種類についてのクイズを行いました。

シモダファームに到着後、2班に分けてシモダ産業(株)社長の霜田様より施設および取組みについてパワーポイントを使って説明、「クリーンセンター」とハウス内のバナナ栽培の見学をそれぞれ質疑応答含め行い、最後にバナナ(皮付)とバナナを使ったジェラード、バナナドーナツ・バナナミルクの素試食をしていただきました。

Ⅲ. アンケート結果

- ・生徒（高校）に新潟県の SDGs の取り組みについて伝えたいと思い、HP でたまたまシモダファームさんにたどり着きました。今回自分の目で取り組みを見る事ができるとも良い機会となりました。地域を元気にしたい、環境を守りたいというとりくみが素晴らしく、新潟の魅力として授業に生かしていきたいです。有難うございました。
- ・シモダ産業さんの取り組みにとっても感銘を受けました。私も身近なところから循環を意識して取り入れられるところからやってみたいと思いました。
- ・バナナの農場を作ることで今迄ただ捨てていた水や熱を利用し新しい産物を生みだし、地域に還元していける…1つを思いついたら2つ3つとお得になる凄い取り組みだと思いました。
- ・越後バナナが食べました。ジェラードが美味しかった。バナナ栽培とゴミ処理が循環できるとは…これからの子どもたちの未来にもびっくりするような循環や、つながりの発想が生まれ人も地球も仲よく笑顔で過ごせる未来となりますように！まずは今、自分と家族ができることを実践したいと思いました
- ・珍しいバナナの栽培の様子を知ることができて良かったです。また、ごみ焼却時の熱を使い少しでも環境に考慮したやり方はとても良い事だと思った。できる事は少しずつでも進めていくことは大事ですね
- ・とても良い取り組みと思いましたが価格がもう少し安いともっと協力できますが、そこは残念に思います。夏場の熱利用に期待します。また、カフェできましたらお邪魔したいと思います。カフェには売店もお願いします。
- ・国内の無農薬バナナ、とても興味があったので、今回参加できて大変嬉しかったです。試食も沢山、皮付きバナナ等食べてみたかったものばかりでした。直接栽培ハウスを見られて、お話もいただき勉強になりました。シモダ産業についても、理解を深められました。地域のことを考えた取組みに好感を持ちました。来年の新事業に向けて、応援しています！

Ⅳ. 効果

前回同様、応募者が 170 名を超える申込みがあり、子どもさんも興味をもて親子揃って参加できる企画だったことや SDGs やエシカル消費についてかなりの関心が集まっていることを改めて実感できる企画となりました。

また、国内初の焼却施設の排熱を利用したバナナ栽培を通して、規格外の小さいバナナを地域の菓子店に提供したり、収穫後の古株から「バナナ和紙」を製作するなど、資源を循環させる取組みに加え、来年に向けて6次産業化にも取り組んでおられ一層 SDGs やエシカル消費への関心を深めることができました。アンケートにもありますが、夏場は排熱を使っていないことが質問からわかり今後の対応が求められる指摘となりました。

今回も 130 名ほどの方が応募いただきながら落選になっており、6次産業化の状況も含め次年度以降の計画作成に向けては再度企画検討したいと思います。

以上

食から持続可能な社会の形成を考える学習会(第1回)
雪国でバナナ栽培?! ~新潟県産バナナでつくる循環型社会~
(一部抜粋)

参加者 40名中 36枚

アンケート集計

Q 1. ご自身についてご回答ください。

性別： ①男性 7 ②女性 28 無記入 1

年齢： ①10代以下 2 ②10代 2 ③20代 0 ④30代 0 ⑤40代 6 ⑥50代 6
⑦60歳 10 ⑧ 70歳以上 10

職業： ①消費者 12 ②生協組合員 15 ③農業生産者 1 ④食品関連事業者 0
⑤学生・生徒 5 ⑥行政関係者 0 ⑦教育関係者 2 ⑧報道関係者 0
⑨その他 1 (新潟県消費生活会員)

Q 2. 今回の学習会は何でお知りになりましたか。

① チラシ 5 ② 新潟県ホームページ 0 ③ 新潟県からのお知らせ 4
④ 生協からのお知らせ 24 ⑤ 知人からの紹介 3 ⑥ その他 0

Q 3. 排熱を利用したバナナ栽培と食ロス削減やバナナ和紙づくりに取り組む循環型地域貢献について理解できましたか。

① よく理解できた 26 ② まあまあ理解できた 7 ③ 普通 1 ④ 少し理解できた 2
⑤ 理解できなかった 0

Q 4. 今後も「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」が開催される場合、参加したいと思いますか。

① 是非参加したい 13 ② テーマによっては参加したい 21 ③ あまり参加したくない 0
④ 参加したくない 0 ⑤ わからない 2

Q 5. 「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」で、今後取り上げてほしいテーマ・内容を教えてください

①食品ロス 13 ②プラスチック削減 5 ③環境保全 9 ④森の豊かさ(林業関係含む) 10
⑤海の豊かさ(漁業関係含む) 9 ⑥県内農場の視察・見学 16
⑦県内食品メーカーの視察・見学 18 ⑧地域の特産品等による地域おこしの現場視察 13
⑨ESG(環境・社会・企業統治)経営 1



